

「平成30年7月豪雨」災害対応に係る情報 <No.11>

平成30年8月13日 (月) 16:00 (計1枚)

※この情報は、県内市町村社会福祉協議会、県経営協会会員等の関係機関にお送りしています。

※県社会福祉協議会ホームページにも掲載しています。

【連絡先】社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会 総務・資金部(地域連携班)

〈HP〉 www.wakayamakenshakyo.or.jp/

TEL:073-435-5224/FAX:073-435-5226

1 近畿ブロック「災害時の相互支援に関する協定」に基づく活動

— 岡山県倉敷市災害ボランティアセンター運営支援 第6クール活動中！ —

第6クール派遣職員(新宮市社協:西・大江、県社協:岩崎)の3名は、引き続き倉敷市災害VCで活動中です。

新宮市社協から派遣の2名は「箭田(やた)サテライト」でマッチング班やオリエンテーション班の業務を、県社協・岩崎はボランティアセンター本部(総務班)で各サテライトの連絡調整業務等を担当しています。



なお、倉敷市災害VCでは、お盆期間(13~15日)は被災された皆様が静かにお盆を過ごされることにも配慮し、ボランティア活動を一時休止されます。

— 第2次派遣は8/15~、当面8/31まで —

被災地社協からの要請及び全国社会福祉協議会等の調整に基づき、本県からも引き続き8月15日~8月31日までの間、第2次職員派遣を行うことが既に決定しています。



倉敷市災害VC本部の様子

9月以降の支援体制は、8月20日(月)に岡山県社協で開催される「ブロック幹事県・市社協会議」で協議予定です。

2 被災地支援のためのボランティアバス運行

— 第4陣20名、岡山県倉敷市で活動 無事に帰着 —

8月9日深夜に出発したボランティアバス一行が、10日の活動を終え、和歌山に帰ってきました。

現地では、被災したお宅の泥出し(屋内・庭)を、2グループに分かれ活動しました。水害により流れ着き堆積した泥・土を丁寧に取り除き、土のう袋に詰めていきました。



〈参加者の声から〉

・今回初めてボランティアに参加させていただきました。緊張と不安でいっぱいでしたが、他の参加者の方々がとても親切に教えてくださったのでとても良い経験になりました。テレビで見ると実際に現場を見に行くのではとてもギャップがありました。しかし、私達が訪問した住民の方はとても明るくて気さくに接してくれる方だったので、こっちが元気づけられました。

・本日は曇り空の下での活動だったので、日差しがなかったが蒸し暑く感じました。活動も家財の運び出しから家の内外の土のかき出し清掃に移り変わり、少しずつではあるが復旧が進んでいることを感じました。これからも微力ながら協力していきたいです。